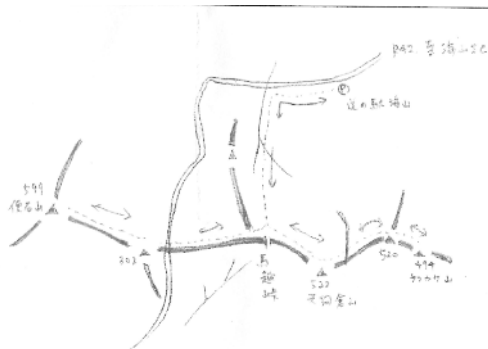


# 天狗倉山・便石山

釣りと登山

2022年5月3日 L: 齋藤

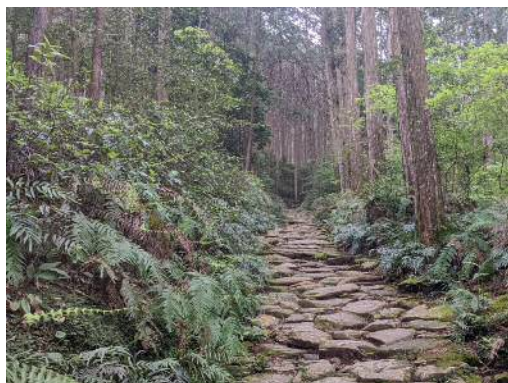


## アクセス

紀勢道の海山 IC(みやま)下車。R42 経由で道の駅海山に駐車。馬越峠(まごせ)入口には4台ほど駐車可。

## 5月3日(火)晴れ

GWに3連休を得られたので1日目を山。2日目は海。3日目は片付け?を予定した。6:20頃に道の駅を出発。R42を0.7km程歩いたところに熊野古道-馬越峠の入口。石畳の道は峠まで続く。



この施工は本当に大変だったろうと思います

馬越峠から西に行くと便石山(びんしやま)。山頂は展望が開けていないが少し奥に歩くと「象の背」と呼ばれる山から突き出した大岩がある。その背をこわごわ歩いてみたがロープ確保無しではとても先端まで行けたものではない。



まさに象の背中w

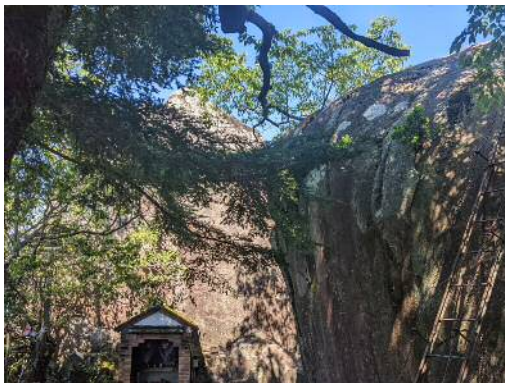


**ムリムリ。これ以上ムリだわ。**

象の背のあとは馬越峠まで戻り、次は天狗倉山(てんぐらさん)へ。嫌になるくらい木段が続く。歩きのテンポが乱れるので、自分としては自然のままの方が好みである。



**階段登りはただの作業と知れ**



**でも峠から 30 分もかからず山頂へ**

天狗倉山からの眺望は素晴らしかったがさらにその先のおちょぼ岩はもっと良いかも。期待して奥へ進む。多くの人が天狗倉山で引き返すのか、ここからは山の中だよ。って雰囲気は漂っている。



**おちょぼ岩に到着～**

おちょぼ岩には誰もいなく、天気も良く風も無かったので、自分としては珍しく 20 分ほどの長い休憩を取った。リアス式の海岸にいくつかの港が見えるが、どの港も釣り人の姿が見えない。まだ時期が早すぎるか……。下山後の旅程を憂慮する。現地の状況に合わせられるよう釣り道具は豊富に持参してきているのになあ。と、心配していてもまずは下山下山。来た道をさらさらっと下って行った。  
<タイム>

道の駅海山 P(6:24)-便石山(8:00)-天狗倉山(9:44)-おちょぼ岩(10:27)-道の駅海山 P(12:21)

(齋藤 記)

その日 20 時まで紀伊長島港で投げましたがフグしか釣れず戦意喪失して浜松に向かいました。道の駅潮見坂で仮眠して、翌朝直行で舞坂に行きましたが結局だめでした。